

脳楽習便り

令和4年8月号

有限会社ミカタ
住所: 松戸市小金原3-4-15
電話: 047-342-0005

今月の『脳楽習』「関東の観光地②」より

【東京タワークイズ】

完成したのは、昭和何年でしょう？



① 昭和33年

② 昭和40年

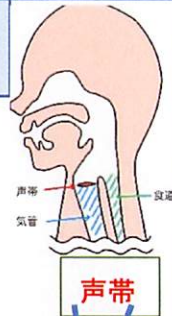
今月のワンポイント ～声帯の衰え～

声は声帯の振動によって生じます。声帯は2枚のヒダ状で、表面は粘膜、中身は、筋肉とじん帯です。声を出す機会が減ると、筋肉がやせてしまいます。食べ物が気管に入り、誤嚥性肺炎を引き起こすリスクが高まります。

発声機会減少・・・声門閉鎖不全リスクが高まる

声帯がやせ2枚のヒダの閉鎖不全が起きると・・・
・声がかすれる・声の持続時間が短くなる

ムセる・食物が気管に入る・誤嚥性肺炎リスク



声帯を鍛える

- ・「あ～」と発声しよう 男性15秒・女性12秒を目標に
- ・「ドレミファソラシド」♪ 1オクターブの上げ下げ
- ・こまめに水を飲み、喉の乾燥を防ごう
- ・「あっははは」と声を出して笑おう



「**さくご** 錯誤」とは？失語症状の1つです

失語症の<話し言葉の障害>に **さくご 錯語** があります。

言いたい言葉とは、違う言葉を使ってしまう症状



いちご

「りんご」(他の言葉になる)

「あちご」(他の音になる)

言い間違いも大丈夫。伝わります。



日常生活で聞き手は・・・①言い直しを求めず ②推測して正しい語を言う ③推測が正しいか、聞いたり書いたりして確認する

*生活上で過度に言い直しを求めると、話す事に消極的になる場合も。

答え: 「① 昭和33年」東京タワーは、大展望台(150メートル)と、特別展望台(250メートル)があります。昭和33年開業当時は大展望台のみで、料金は120円でした。